

米奥小だより

令和8年6月22日（月）

No. 1 1

米奥小学校 校長 北添 忠

○なごみ会との花植え

先日の台風の影響で、田植えと同様に延期になっていた「なごみ会との花植え」が6月17日（水）に行われました。あいにくの雨でしたが、児童は傘をさして学校を出て、なごみ会のみなさんが待つ米奥集会所へ歩いて移動しました。道路を渡る時には、松葉川駐在所の方が交通整理をしてくださいました。

花植えは、雨の影響が少ない集会所の軒下で行いました。土を入れたプランターに沿うように児童となごみ会の方々が並んでしゃがみ、移植ごてを使って植えていきました。5.6年生は慣

れた手つきでポットから花の苗を出して植えていました。低学年の児童は、なごみ会の方々から植え方を習って、いっしょに苗を植えていました。苗は、色鮮やかな花が咲いているものが多かったのですが、中にはつぼみのものもあり、これから長く花を楽しめそうでした。それらの配置を考えながら植えていき、植え終わるとプランターの前で、みんなで記念写真を撮りました。

なごみ会との交流は年間を通して行われ、次は7月の七夕交流です。

○エッセイ教室

エッセイ教室が今年度もスタートしました。これは、自分の考えを文章で表現する力を身に付けるために3年前から取り組んでいます。5.6年生が1学期から2学期にかけて、合わせて5回、外部講師から指導を受けます。6月16日（火）は、その1回目です。



た。6年生は昨年度からやってきているので、新たな課題でも、昨年度を思い出しながら進めていました。5年生は初めてということで、今回は思考の整理の仕方までで終わる予定でしたが、講師のイメージよりも早く進んだようで、エッセイを書くところまでできました。

5年生の課題は「好きな食べ物」、6年生の課題は「学校は必要？」でした。ブレインストーミングで課題に対して浮かんだワードを15以上書き、アウトラインで文章の構成をつくり、最後に原稿用紙に自分の考えを書きました。全員が50分間のなかで考えをまとめ、200字以上のエッセイを書きあげました。6年生の中には400字以上書いた児童もいました。

変化の大きい時代。求められる力も変化しています。この学習で身に付けた力が、さまざまな場面で役立つと思っています。

○全校遊び

梅雨に入り、昼休みに行っている全校遊びも体育館で行われることが多くなりました。ただ、米奥小のグラウンドは水はけが良いのか、草のおかげか、少々の雨なら半日くらい晴れば一部が使えるようになります。今日は2チームに分かれてキックベースボールです。ルールをみんなが共通理解しているかわかりませんが、教え合いながら、元気な男子を中心に声が響いていました。

